

いわみざわ市の教育

—特集—

第64回子ども文化祭・第71回市民の文化祭

- 第40回 みんなで教育を考える日
- 郷土科学館の紹介
- 令和5年度岩見沢市教育振興表彰
- 岩見沢市のコミュニティ・エリアの取組について②
- 図書館フェスティバル・ナイトライブラリー



【写真の紹介】

10月28日(土)、岩見沢市立第一小学校において、学芸会が行われました。一生懸命練習してきた成果を発表した子どもたちに、保護者の方々からあたたかい拍手が送られていました。

岩見沢市教育委員会 Facebook

市内の教育に関する行事の情報、市教委ホームページの更新情報などを発信していますので、ぜひ「いいね！」してください！

<http://www.facebook.com/edu.iwamizawa>



第64回子ども文化祭・第71回市民の文化祭

第64回子ども文化祭

市内全小中学校23校の児童生徒が学習の成果を発表する「第64回子ども文化祭」が開催されました。

今年は10月2日(月)の「英語暗唱大会」を皮切りに12日(木)に「音楽発表(小学生の部)」、13日(金)に「音楽発表(中学生の部)」、14日(土)～15日(日)に「展示発表会」と4年ぶりに3部門での開催となりました。

「英語暗唱大会」では中学生23人が発表し、審査員長の北海道科学大学・三浦教授から、「皆さんに拍手を贈りたい。1・2年生は3年生や他の人の良かった点を参考に日頃の学習にもつなげて欲しい。」と講評がありました。

また、「音楽発表会」ではきれいな歌声だけでなく、踊りも交えた発表もあったほか、全体合唱では観覧に来られた皆さんが圧倒される様子も見られました。

土、日に行われた「展示発表会」は両日合わせて2,800人を超える方々に来場いただき、大盛況のうちに幕をとじました。



第71回市民の文化祭

市民の文化祭は「文化の輪を広げよう」をテーマに、市内の舞台や文芸、展示関係の各団体が、日常の文化活動等で創作した芸術作品の展示や詩舞等の芸能を発表する場として開催されています。

今年度は10月28日(土)～29日(日)にまなみーる岩見沢市民会館・文化センターで、11月3日(金)～5日(日)には栗沢市民センターで栗沢地区発表会が行われました。

まなみーる会場では2日間を通して、絵画や書道、華道等の展示と、合唱や箏曲、日舞等の舞台発表、川柳等の文芸発表に加えて、4年ぶりにお茶席も行われるなど、オープニングセレモニーから大変な盛り上がりとなりました。

今年は久しぶりに感染症対策による制限を設けない開催となり、参加団体からは発表ができる喜びの声もいただきました。



【お問合せ先】文化・スポーツ振興課文化振興係
電話 0126-35-5130

第40回 みんなで教育を考える日



教育に関することをテーマに、多くの市民のみなさんと考える「みんなで教育を考える日」が11月11日(土)に生涯学習センターいわなびで開催されました。

第1部 教育講演会

「人生100年時代を見据えた生涯学習のあり方」と題し、北海道教育大学岩見沢校 美術文化専攻 まちづくりデザイン研究室 准教授 酒井秀治氏にご講演をいただきました。

講演では、自身の体験談である、ミツバチとのふれあいを通じて環境や社会とのつながりを学ぶ都市型養蜂プロジェクト(サッポロ・ミツバチ・プロジェクト)を事例に、趣味が仕事につながったことや、関心を持っていたことが新しい活動につながったことを話されました。趣味や社会に関心を持つことで、活動のきっかけ、新しい人との関わりにつながります。



第2部 ワールドカフェ

少人数でテーブルを囲み、お茶やお菓子を食べながらリラックスした雰囲気の中で意見交換をする「ワールドカフェ」を行いました。自分の好きなことや興味があること、岩見沢市ならではの資源(ひと・もの・こと)を模造紙に書き出し、それをどのように「学び」に繋げるか、学びの環境づくりについてみんなで考えました。



郷土科学館で歴史と星空の旅へ

週末は、「歴史と科学の館」の岩見沢郷土科学館で過ごしませんか。

展示室では、たくさんの資料を通して昔の暮らしや岩見沢の歩みを紹介しています。特に石器・土器を展示したコーナーは圧巻の資料数で、見比べると土器の形や文様の流行が時代によって変わること、用途によって石器が作り分けられていることなどたくさんの発見をすることができます。この他にも、明治以降の暮らしや仕事の道具になつかしさを感じてみる、輪投げやけん玉、コマで実際に遊んでみるなど年代問わず気軽に歴史に触れることができます。

天井高さ12m、座席数98のプラネタリウム室では、光学式とデジタル式の二種類の投影を通して、星空の世界をじっくりと楽しむことができます。季節や参加者の年齢層などに合わせたスタッフの解説も見どころの一つで、当日の星の見え方など天体観測の予習にも使える話を聞くことができます。

冬季間も、火曜午後から日曜まで開館しています。郷土科学館でゆったりと、歴史と星空の世界に浸ってみませんか。ぜひ、来館お待ちしております！



郷土科学館 / 岩見沢市ホームページ
www.city.iwamizawa.hokkaido.jp

【お問合せ先】岩見沢郷土科学館 電話 0126-23-7170

岩見沢市教育振興表彰

岩見沢市教育振興表彰とは？

岩見沢市の教育振興のため、特に功績のあった市民または市民であった方に対して、その功労を表彰するものです。

個人が成したことだけでなく、教育に携わる団体に所属し、その団体の育成・発展に貢献されたことなども表彰の対象となります。

教育関係各種団体、学校等が候補者を推薦し、選考を経て決定します。

今年度は、以下の方々が受章されました。

教育振興表彰受章者

体育功労



岩城 文雄 様

岩見沢バレーボール協会の役員として、永年にわたり組織の運営・発展に寄与され、青少年のバレーボールの技術向上および普及に大いに尽力されました。

団体育成功労



武藏 容子 様

岩見沢市地域子ども会育成会連合会の役員として、永年にわたり組織の運営・発展に寄与され、組織の連絡調整を図るなど、子ども会の連携に貢献されました。

教育振興表彰式

11月2日(木)午前11時より、ホテルサンプラザにて岩見沢市教育振興表彰式が執り行われ、受章者のお二方には表彰状と記念品が吉永教育長より贈呈されました。また、松野市長よりお祝いの言葉があり、受章者を代表し、岩城 文雄 様が謝辞を述べられました。



【お問合せ先】学校教育課総務係 電話 0126-35-5121

岩見沢市のコミュニティ・エリアの取組について②

～清園中学校区・上幌向中学校区・豊中学校区～

コミュニティ・エリアとは？

義務教育9年間で切れ目がないよう、中学校と、その中学校を指定校とする小学校で一つの学校運営協議会を設置し、地域の声を積極的に生かしながら、地域と一体になって特色ある学校づくりを進めています。

市では、令和4年度に市内全9中学校区の学校運営協議会の設置が完了したため、それぞれのコミュニティ・エリアの取り組みを紹介していきます。

～学校運営協議会（コミュニティ・スクール）とは～
学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。



S M S 清園中学校区(志文小・メープル小・清園中)

～「よい地域」の形成、「よい学校」づくりを目指したSMSの取組～

共通のテーマ「利他共生」を芯柱とし、活動の一貫性を図っています。持続可能なコミュニティづくりのためにSMSの子どもたちが地域で学び、育ち、認められる存在となれるよう、学校・地域それぞれの立場から熟議を重ねてきました。あわせて、将来、地域づくりを担う人材をどう育成するのかについても検討を進めております。

今年度の主な活動内容

- ① 定例協議会(年3回)
- ② キャリア授業「ティーンザニア」の開催
(地域企業・個人事業主あわせて11社を招へい)
- ③ 町内あいさつ運動
- ④ 街灯設置に向けた調査活動
- ⑤ 小中接続防災教育
- ⑥ クリーン大作戦 など



▲キャリア授業の様子



▲小中接続防災教育

今後も地域コーディネーターが中心となり、地域と学校がつながり相互に課題を解決し、win-winの関係を築くことを目指しています。

上幌向中学校区(第二小・上幌向中)

～今年度の取り組み～

① 共通課題についての協議
上幌向地区では今年度、挨拶運動に力を入れています。小学校・中学校では、児童会や生徒会を中心に挨拶運動を行いました。学校運営協議会の中でも、『「いつでも」「どこでも」「だれにでも」挨拶できる上幌向を目指して』と題してグループ協議を行い、地域の方々や地域の現状や課題と今後の実践に向けて協議を行いました。

② 町内清掃活動

コロナ禍前に「上幌向町会」「第二小学校」「上幌向中学校」がそれぞれ行っていた町内の清掃活動を、同一日に行いました。三者が協力して清掃することで、地域の一員としての自覚がより一層育まれました。



③ コミュニティ市
8月26日(土)に上幌向コミュニティ市が開催されました。当日は、上幌向町会・小学校PTA・中学校PTAがそれぞれ飲食店等を出店しました。地域交流の場となると共に地域住民の絆が深まりました。

豊中学校区(幌向小・豊中)

～幌向地区のさらなる活性化を目指して～

豊中学校区は目指す子ども像を「大人になること 働くことに憧れを抱く子ども」と定めております。子どもたちが多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創りに育つよう、学校運営協議会を基盤とした教育活動を展開しています。

年4回の協議会では、グループワークで活発な討議を進め、本年度は初めての試みとして、「地域住民参加型の学校祭」「地域防災訓練」の二大行事を運営しました。

どちらの行事も大変好評で、来年度も継続を望む声が多かったことから、今後も学校を拠点とした地域の活動を通じて、幌向地区をさらに元気づけて参ります。



地域防災訓練の様子 →

図書館フェスティバル

9月30日(土)、図書館フェスティバルを開催しました。今回は図書館独自のトートバッグを来館者に配布する(先着100名)ということもあって、朝から大盛況でした！

各コーナーでは、バルーンショーをはじめ、クリスタルポウル演奏会・米袋トートバッグワークショップなど、館内各所での催し物を多くの皆様楽しんでいただきました。

また来年も楽しいフェスティバルを皆様にお届けしたいと思います。



子ども司書体験



読み聞かせ



米袋トートバッグ作り



ナイトライブラリー

いわみちゃんのねぶた



今年の「ナイトライブラリー」は、11月11日(土)大雪の日でした。

図書館の演出では、雑誌コーナーに設置したいわみちゃんのねぶたが好評でした。催し物では、絵本作家広瀬克也さんを招いてのワークショップ「妖怪ぼうしを作ろう」、絵本サイン会・トークショー、そして千葉いづみさんによるフルート演奏会を開催しました。ブラウジングコーナーからは外の冬景色がとても幻想的で、皆様には楽しいひと時をすごしていただきました。

悪天候の中、たくさんの皆様に来ていただき、ありがとうございました。

妖怪ぼうし作り
(広瀬克也さん)



フルート演奏会
(千葉いづみさん)



【お問合せ先】図書館図書係 電話 0126-22-4236